

日本における高齢者及びハイリスク成人の RSV 感染症の血清疫学的研究

1. 研究の対象

2024 年 5 月～2026 年 3 月末の期間に当院において診察目的で採血された 60 歳以上の方

2. 研究目的・方法

RS ウイルス感染症は、呼吸器疾患において一般的な原因となり、乳幼児や慢性呼吸器疾患などの基礎疾患のある高齢者などは重症化の一因であると考えられています。予防方法はワクチン接種で、60 歳以上を対象としたワクチンもあります。しかし、日本において高齢者およびハイリスク成人の血清疫学データは少なく血清有病率や、重症化や死亡に関する知見は限られています。そこで、高齢者およびハイリスク成人における RS ウイルス抗体価の保有状況を調査し今後の RSV ワクチンプログラムに貢献することを目的とした。

実施期間；2024 年 5 月から 2026 年 3 月末まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類（診療録からわかる範囲のみ）

情報；採血日、RSV 検査結果、年齢、性別、居住地（市、郡のみ）、呼吸器症状、喫煙・飲酒・服薬の有無、ワクチン歴（インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン、新型コロナウイルスワクチンのみ）、基礎疾患、同居人、入院状況

試料；血清

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立病院機構 三重病院 臨床研究部

研究責任者 Simbeya Anthony、根来 麻奈美、谷口 清州

三重県津市大里窪田町 357

059-246-6264